平成20年度情報処理軽井沢セミナー
自由演習課題

事務における電子決裁の
電子署名利用の検討

埼玉大学情報メディア基盤センター
田邊俊治

埼玉大学　情報メディア基盤センター Saitama University Information Technology Center All right reserved

埼玉大学について

- 常勤職員約230名
- 学生数約8700名
- 1キャンパス 4付属校園
- 5学部 1連合大学院
- 外部研究所との連携あり

 All right reserved

情報メディア基盤センターの提供サービス

- LDAP＋radius＋sambaによる認証サービス

  （センター外の学務システム・図書館システムに提供）
- 1人1アカウント(≒1メールアドレス)
- ダイナミック認証VLAN(有線・無線)

学内関係者のアカウント保有率は90%以上

- 近年は他部局との連携を求められている

 All right reserved

現在の事務電子化状況

- 配布書類はスキャンデータで配布
- 勤務時間報告はエクセルシート
- 職員の業務用にグループウェアを導入
- 事務用PCはリースで統一環境
- 学長通知で電子決裁を認めている

 All right reserved

電子化はしたけれど

- 電子化したもののグループウェア利用者のみが対象
- グループウェアは役職に紐づけ
- 署名ではなく操作の本人性根拠がログイン記録のみ

外部監査には不十分と思われる

 All right reserved

導入にあたって

- 現在
  - ユーザ環境統一が可能
  - 規則・規定で電子決裁を認めている
- 現在の問題
  - 書類の回覧ルートが固定で応用がきかない
  - 現在の電子決裁はWeb上のフォームであり添付ファイルの検証などができない。

 All right reserved

必要なもの

- 整備を要するもの
  - 認証局とそのCP/CPS
  - 長期運用を前提とする規定・規則・体制
  - 電子決裁の署名の意味についての見当

 All right reserved

事前の検討事項

- 認証局 CP/CPS
  - 誰が何のために設置するのか
- 組織・体制
  - どこが認証局の維持・管理をおこなうか？
- 署名の意味
  - 電子決裁の何を検証させるのか
  - 署名したものをいつまで保持するのか

 All right reserved

まとめ

- 規定・事務手続き上はクリア
- グループウェアというライセンスに縛られない
  - そのかわり署名するソフトには縛られる
- 目的を見据える
- 外部から監査されても大丈夫なソリューション
- 三文判PKI
- 外部との連携が必要なときは…そういうCPを作りましょう

埼玉大学 情報メディア基盤センター Saitama University Information Technology Center All right reserved

今後

- 事務を対象とした「長期運用」を前提とした認証局を設置し、そこから学生・教員の利用を展開していきたい
  - 署名が自然にある社会
- 各種証明への対応も検討したい
  - ここでUPKI連携
  - 広報メールのS/MIME化(商用証明書)

 All right reserved

その他思う所

- 「なぜ」高いセキュリティを求められるのか？
  - 「継続的」に電子データに対してCP/CPSを拠り所として「信用」を付与するから。

- 目の前にある機会
  - ICカード導入の企画はあるがその目的は何か？
  - キャンパスPKIと用途が一致するか慎重に検討

 All right reserved